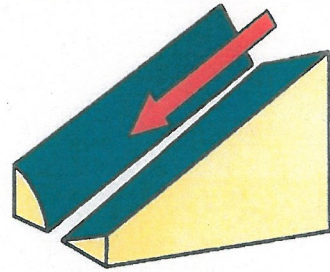


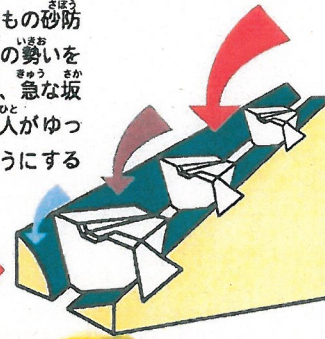
さほう えんてい しごと やくわり 砂防堰堤の仕事と役割

さほう えんてい 砂防堰堤

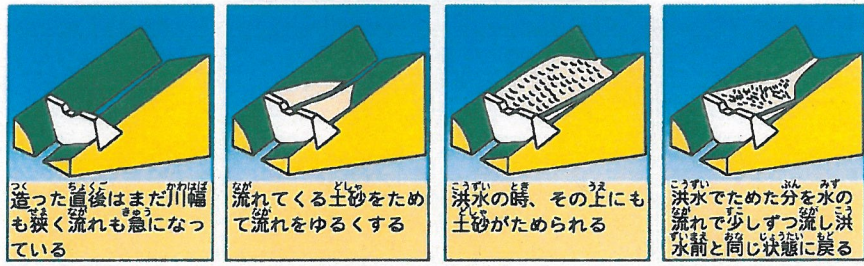
土石流を防ぐために一番多く用いられている方法が砂防堰堤です。砂防堰堤は大量の土石流をおさえ、流れてくる土砂の量を調節することによって災害を防いでくれます。土砂が多く流れ出す急な川にはいくつかの砂防堰堤を造って土砂の勢いを弱めます。



急な川にはいくつかの砂防堰堤を造って土砂の勢いを弱めます。これは、急な坡道に階段を造って人がゆっくり降りられるようにするのと同じです。



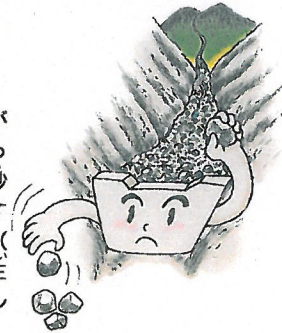
砂防堰堤の抑制・調節機能



1. 土石流（どせきりゅう）を受け止める
大雨などが降って土石流（どせきりゅう）が発生した時、砂防（さほう）堰堤（えんてい）がしっかりと受け止めて、その下にある町や村を災害から守ります。



2. 土石流（どせきりゅう）が起きた時のためにそなえておく
砂防（さほう）堰堤（えんてい）が土砂でいっぱいになってしまった時は、土砂を取りのぞく工事をするなどして、土石流（どせきりゅう）が発生しても防げるようにしておきます。



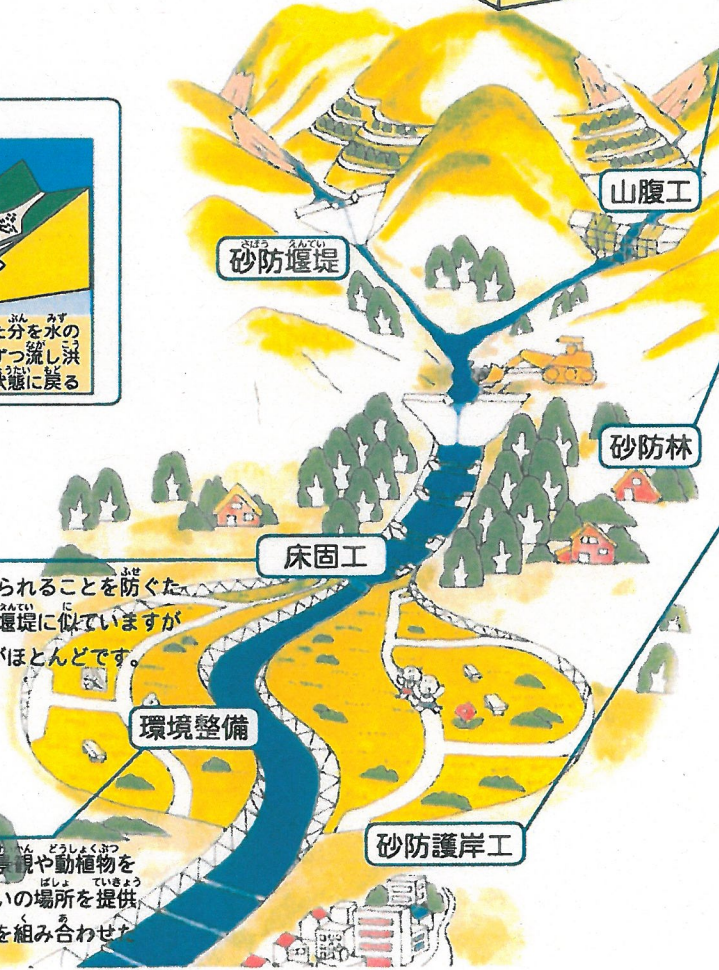
とこがためこう 床固工

川の流れて川底が削られることを防ぐために行われます。砂防堰堤に似ていますが、高さは5m以下のものがほとんどです。

環境整備

かんきょうせいび 環境整備

砂防施設の整備に併せて景観や動植物を保護したり、川とのふれあいの場所を提供するため、いろいろな方法を組み合わせながら整備を行います。



さんぶくこう 山腹工

山は、草や木がなくなり荒れてしまうと、そのままではどんどん土砂が流れ出してしまいます。そこで、山の斜面を段々に整えるなどして、草や木を植えて荒れた山を森林に戻す工事です。



山腹工
(さんぶくこう)

山の斜面に木を植えて、地面に雨が流れるのを防ぎます。

さほうりん 砂防林

土石流の流れを散らして勢いをなくしたり、田畑や家の方にあふれてこなくするための林です。普段は公園として利用されていることが多く憩いの場となります。

さほうごんこう けいりゅうほぜんこう 砂防護岸工（溪流保全工）

川はいつも決まった場所を流れるわけではなく、右に左に方向を変えて流れるため、川岸が削り取られたり水があふれ出したりします。川岸が削り取られ家や田畑が流されないように、安全な川の流れを造り、災害を防ぎます。



完成

